

## 名取市環境審議会会議録

- 1 日 時 令和7年2月10日(月)  
午後1時30分から午後3時32分まで
- 2 場 所 市役所 議会棟 第3、第4委員会室
- 3 出席委員
- |     |         |     |        |
|-----|---------|-----|--------|
| 会 長 | 長谷川 公一  | 副会長 | 菅野 美穂子 |
| 委 員 | 坂口 大洋   | 委 員 | 尾身 宜彦  |
| 委 員 | 洞口 祐一   | 委 員 | 今野 義正  |
| 委 員 | 佐々木 せい子 | 委 員 | 星野 豊   |
| 委 員 | 遠藤 美砂子  | 委 員 | 吉田 芳弘  |
| 委 員 | 佐々木 格雄  | 委 員 | 齋 輝夫   |
| 委 員 | 氏家 晃    |     |        |
- 4 欠席委員
- |     |       |     |       |
|-----|-------|-----|-------|
| 委 員 | 相澤 久美 | 委 員 | 伊藤 秀利 |
|-----|-------|-----|-------|
- 5 事務局職員
- |          |        |
|----------|--------|
| 生活経済部長   | 小畑 和弥  |
| クリーン対策課長 | 朽木 康裕  |
| 同 課長補佐   | 石川 雅一  |
| 同 環境保全係長 | 佐々木 里香 |
| 同 主事     | 高橋 賢悟  |
- 6 会議傍聴者 なし
- 7 議 事 内 容 次のとおり

午後1時30分 開会

○石川課長補佐

定刻となりましたので名取市環境審議会を開会いたします。

開会に際しまして、この度、小島哲夫委員がご退任され、新たに洞口祐一委員

に就任いただきましたので、ご紹介申し上げます。

洞口委員、恐縮ですが、ご起立のうえ、簡単に自己紹介をお願いいたします。

○洞口委員

委員あいさつ

○石川課長補佐

ありがとうございました。では、開会にうつります。

名取市環境基本条例第 27 条第 2 項に「審議会の会議は委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。」とあります。委員 15 名中、13 名の出席がありますので、この会議が成立することを申し上げます。

「名取市審議会等の会議の公開に関する要綱」により、この審議会につきましては公開の審議会となっております。傍聴者 5 名までという形で公開しておりますが、傍聴者がいないことを申し添えます。

それでは開会にあたりまして、会長からご挨拶をお願いいたします。

○長谷川会長

会長あいさつ

○石川課長補佐

ありがとうございました。それでは、本日の議事に入りたいと思います。

名取市環境基本条例第 27 条第 1 項に「審議会の会議は、会長が招集し会長がその議長となる。」とありますので、会長を議長として議事進行をお願いします。

○長谷川会長

それでは、議事に移らせていただきます。報告事項（1）名取市第六次長期総合計画における進捗状況について、事務局よりお願いします。

○事務局

配布資料に沿って説明。

○長谷川会長

ありがとうございました。ただ今ご説明がありました内容について何かご意

見、ご質問ございましたらお願いいたします。

星野委員、オイルプラントナトリの顧問として、ただ今の家庭でのてんぷら油は値上げ等があるのではないかということですが。

○星野委員

一般市民からは減っていますが、事業所からはどちらかというと増えていきます。車などの利用は減ってますが、飛行機での利用などが出てきています。自分のところでは発電機にてんぷら油を利用しており、いろいろなところから問い合わせがあり、シクラメンを育てる農家も使っています。

○長谷川会長

その他何かございますか。

○星野委員

苦情の件数ですが、騒音について具体的に教えてください。

○事務局

騒音についてはご近所トラブル的なものが多く、建設関係、マンション建設や住宅解体などに対し、反応される方が多々見られます。令和 6 年度は比較的小さいですが、令和 5 年度、令和 4 年度は多くご意見が寄せられております。

○洞口委員

商工会などは結構お祭りをしますが、そういったものに苦情などは来ますか。

○事務局

いただいたことはございません。

○菅野委員

進捗管理でふれあい活動の参加者が基準年度と比べ増えた、減ったとあり、以前は 30 人くらいでやっていたと思いますが。

○事務局

基本的に人枠 20 名として募集をかけております。参加は年によってまちまちなこと、悪天候で開催できなかったこともあり、それが数字に表れています。

○菅野委員

自然保護の満足度のパーセントについて、観察会などアンケート調査を行っていますがその集計ですか。

○事務局

長期総合計画の中で、令和 5 年度に中間の見直しをかけた際、市民アンケートを行っています。観察会時のアンケートではなく、無作為抽出した市民へのアンケート結果の集計になります。

○長谷川会長

その他ご意見、ご質問ございますか。

○吉田委員

事務局に伺いますが、説明された内容は上位の概念だと思いますが、その上位の概念が今日しか手に入らなかったのはどういう経緯だったのですか。

○事務局

今回、皆様に報告する内容の見直しを行い含めたものです。

この中身については議会には既に報告しており、結果の報告として委員の皆様にお伝えしたいとお出したものです。

○吉田委員

分かりました。何か比較になるような、例えば近隣の市との比較だとどのような感じかなど、その辺のデータがあると比較しやすい。

○長谷川会長

その他ご意見、ご質問ございますか。佐々木委員お願いします。

○佐々木（せ）委員

食品ロスと生ごみ処理のものが含まれており、乾燥して生ごみを捨てる则分量が減りますが、家庭用ごみ処理機は乾燥できるものがあるそうです。コンポストの補助はありますが、乾燥の機械の補助はありますか。

○事務局

名取市では生ごみ堆肥化容器の購入費の補助金を作っており、毎年希望者に補助しています。2 通りあり 1 つはコンポスト、堆肥化できるようなものと、乾

燥を目的とした電気式の堆肥化容器の購入補助を行っています。扱っているお店は市内の店舗等に限り、購入希望の申請をいただき、書類審査を経て決定し、お店と買えるものは限定されていますが、選び、購入していただく。上限金額は3万5千円、概ね半額を目途に実施しています。

○長谷川会長

今のような件や生ごみを乾燥する器具やコンポストなど市の助成制度についてはどの程度知られているのでしょうか。

せっかくの制度なので広報の仕方など検討してください。

○長谷川会長

坂口委員。

○坂口委員

追加資料の考察ですが、最近建築は環境のことをいろいろ言われております。東北地方の1年間のエネルギーだと、暖房が40%くらいで給湯が40%、照明家電15%くらいなので、夏の冷房は1%から2%くらいです。夏季の猛暑でエアコン使用の時間で電気量が上がるのは全体から見ると本当に少ない。

名取市はありませんが、住宅の断熱改修の補助のようなものに移行した方が良いと思っています。サッシの性能も上がっているのでそういうものが良いのではと思います。太陽光よりは断熱の方が効果が高い。

○佐々木（格）委員

1人1日当たりのごみの量の排出量の指標設定の考え方について、1人1日当たり2gの減少を目標とするとありますが、年間単位の1人当たりなど、大きな数値にしないと2gではあまりにも微小過ぎて、目標設定とイメージが噛み合わないのではないかと思います。

○長谷川会長

これは掛ける365日で年間740gを目標値にしているということだと。

○事務局

1日当たりの単位になりますので、求め方としては全体の総量から人口で割り、さらに365で割ったので、その考えで740gとしております。

○遠藤委員

一般廃棄物の時、国や県は必ずこの指標を使います。何故イメージしやすいかというと、子どもに教えるときに 700 g 程度だと、集めたごみを見せ 1 日でこれくらい出していますとイメージしやすいんです。例えば卵 1 個何グラムだからみんなで 1 個減らせばこの目標達成できるよと、小さな単位にすることで分かりやすくしている部分があります。

○長谷川会長

それでは、報告事項（2）令和 5 年度の「温室効果ガス排出抑制等のための実行計画」の実施状況について、事務局より説明をお願いします。

○事務局

（資料をもとに令和 5 年度温室効果ガス排出抑制等のための実行計画の実施状況について説明） 説明内容別紙のとおり

○長谷川会長

皆さんの方から何か質問等ございますか。

○氏家委員

今パソコンを持ち歩いている方も多いので、パソコンを持っている方にデータを送り、ここでパソコンを見ながら行うとか、これからはそういう方法も良いのではないのでしょうか。紙が良いという方には紙を送りなどで削減になるのではないのでしょうか。

○長谷川会長

他にご意見は。

○佐々木（格）委員

事前配布された資料、こちらはバックデータの的な感じのものと受け止めましたが、このまま公表にもっていくものでしょうか。

○事務局

今回報告いたしました実績は主にホームページにて公表いたしますが、取組項目 2 の温室効果ガスの排出量を重点的に公表したいと考えております。

○佐々木（格）委員

3 頁目の資料ですが、何故サイクルスポーツセンターを除いたのでしょうか。

○事務局

平成 30 年を基準として報告していますが、平成 30 年度にはなかった、または平成 30 年度にはあったが令和 5 年度にはない施設を除き、比較して実際どれくらい温室効果ガスが出ているのかを平成 30 年度令和 5 年度の施設の数と同じにして比較したものです。

1 頁目の中程の表に調整していない数値を記載し、3 頁目は参考として掲載しご説明したもの、4 頁目は詳細でありのままの資料となっております。

○佐々木（格）委員

5 頁目の地球温暖化係数というところで、ハイドロフルオロカーボンを 1,300 としていますが、何故 1,300 にしたのでしょうか。

○事務局

環境省で数値が決められており、その数値を使用いたしました。

こちらは第 5 期実行計画、今回の報告の元になっている計画でこちらを使用すると予め決まっておりました。

係数については環境省から出されたものとして出てくるのですが、最初に決めたものから同じもので作成しております。カーエアコンに使っているハイドロフルオロカーボン 134a の種類の地球温暖化係数は 1,300 となっていたと思います。

資料 3 頁のサイクルスポーツセンターを除いた表の下の方に HFC 封入カーエアコン使用台数の対象ガスの項目に HFC-134a と書いてますが、実行計画ではこの HFC-134a の排出係数を使うと予め決められておりました。

○長谷川会長

環境審議会としてはややトリビアになっていますね。ちょっと大所高所からのご見解にしていただかないと。

○佐々木（格）委員

分かりました。では 8 頁。欠測とされているところが結構多いですけども、9 頁に書かれているところも欠測というところが多いです。自動で測定したデータを保存できるシステムでないからそうになっているのかと思いますが。何故欠測になっているのですか。

○事務局

機器の故障により欠測になりましたと報告を受けたところがあります。

○佐々木（格）委員

他のところに故障と書かれているのがあるのが出てきますが、同じように故障な訳ですね。

○長谷川会長

他にご意見はございませんか。

○菅野委員

別紙のところで、温室効果ガス削減のところで名取市とありますが、名取市民が取り組むべきものとの印象を受けますが、報告は市の事業報告になっています。市が率先してやっていてそのデータを積み上げているということは大事なことだと思いますが、市民全体が削減しなければと思うような方向に持っていくアイデアはありますか。

○長谷川会長

菅野委員の言葉は一番根本的な問題な訳ですが、結局データとして前年と比べて増減などが確実な指標としてあるのは、市が管理している施設で、このデータを出さざるを得ないという事情はあると思います。各家庭でも電気使用量とか都市ガスの使用量とかデータの増減って、例えば家エコ診断とかで取っているところがあります。全市民ということではあまりないので、ある程度は止むを得ない。

○菅野委員

止むを得ないとは思いますが、アイデアはないのかなと。

○事務局

今ご説明しているのは市役所 1 事業体の中身であり、市全体に係る報告になっていないのはおっしゃるとおりでございます。冒頭で体系図というものをお話ししましたが、地球温暖化対策実行計画というものを昨年度策定しまして、その計画に基づく進捗については、今後の会議で結果を報告しご意見をいただくことになると思います。省エネやデコ活など脱炭素に繋がるような取り組みについて広報なりホームページで市民に呼び掛けし、注意喚起を行っていき



いと取り組んでいるところです。

○長谷川会長

それでは、令和 6 年度、令和 7 年度に行う脱炭素関連の新規事業に移りたいと思いますのでよろしいでしょうか。

○坂口委員

資料ですが文化会館って毎年稼働率を出しているんです。毎月の稼働率によって電気使用量が相当消化している時、大規模改修などで一カ月全く使わない時もあるのでそうしたものを入れた形表を作っていただきたい。

○長谷川会長

それでは、報告事項（3）令和 6 年度、令和 7 年度に行う脱炭素関連の新規事業に移ります。

○事務局

配布資料を説明

○長谷川会長

宅配ボックスを補助している自治体というのは。例えば仙台市とか、周辺自治体の状況は。

○事務局

宮城県ではどこもありません。

山形市などが行っていますが県内初の試みとなります。

○長谷川会長

戸建ての場合どれくらい宅配ボックス付いていますか。建売の戸建てなどは。

○洞口委員

戸建ては殆ど付いておらず、オプションという形になります。

かなり需要があると思います。

○事務局

補助金を設定するにあたり、千葉県の上野市など先行しているいくつかの自治体にご質問した際、1 万円と回答しているところがあり、広く交付するとい

うことを考え、金額を設定いたしました。工事などによる設置型の宅配ボックスだけでなく宅配バッグも可として進めております。

○長谷川会長

どれくらいニーズがあるのか興味深い。どれくらいを見込んでいますか。

○事務局

100 件程度を見込んでおります。

○長谷川会長

予算を上回った件数が来た場合は。

○事務局

まずは 100 件を 3 年間ということの方針としております。先着で 100 件になります。

次年度のことですが、国の補助金の情報なども出したいと考えておりますが、広報はすぐ掲載できるものではなく、補助金も募集期間などがあるため、ホームページに留まると思っております。

○長谷川会長

ただ今の報告事項について何かご質問などありますでしょうか。先程坂口委員が言われた断熱材の補助金についてもあっていいと思いますね。

○長谷川会長

全体について何かございますか。

○尾身委員

質問ではないですが、昨年から参加しており、資料が見やすくなっていると感じました。削減しようと思っても温暖化などによりまた 1 人 1 台タブレットとして学校でも電気代やサーバー管理代などがあり、なかなか基準自体をクリアするのは難しいと思います。

先程、坂口委員もおっしゃったカーボンニュートラルとして減らす以外にも吸収するという数値として、吸収する取組など木を植えるとか植物を増やそうなどもできればと思います。そうすれば市だけではなく、市全体でとなるのではないかと考えます。

○長谷川会長

とても大切なことですね。県のデータなども吸収量というのはそんなに出てこないで、大変重要なご指摘だと思います。齋委員お願いします。

○齋委員

環境問題は本市だけではなく、全国共通の課題です。そういう視点から考えた時、高校生、中学生、これからの主役は彼らで、彼らに対しアプローチが必要です。2018年10月にアンケートを採られた時、地球温暖化に対するあなたの考え方に対し、中学生は59.2%、高校生は48.5%の関心度と関心が高い結果です。大人だけでなく、教育委員会などもう少し幅を広げ、ピラミッドの底辺を広げる活動も必要だと思います。

2点目は、他の行政との競争ではなく、同じ法律同じ目標としています。県や他のところに尋ね、良い方策があれば紹介していただき、本市の委員会で上乘せしていけばいいのではと思います。

○長谷川会長

最初の中学生や高校生にどう関心を持ってもらうかというのが重要で、行政は縦割りのものがあるので、教育委員会での環境教育、学校教育における環境教育というのは大きな課題で、高校の教員のお立場で尾身委員に参加いただいているので、現場から何か一言あれば。

○尾身委員

農業高校なので環境教育をしており、前年に出た時は産業廃棄物や下水処理場の汚泥をコンポストにしたりとか、処理水を肥料として使えないかななどの研究をしたり、あと今年はJクレジットとして産業廃棄物やもみ殻などを活用して二酸化炭素の排出を抑えたということでJクレジットの認証を高校初で受けました。

環境教育に関しては農業高校はやっているかと思います。近隣の中学校、小学生などに生徒が教えるということをしております。大人がやるというより、生徒から伝えるというのは良いのかなと。子ども達が子ども達に伝えられればと、そのためには是非協力したいなと思います。

○長谷川会長

ちなみに、宮城県農業高校は例年優れた取組を学生さん達が行っており、毎年2月、今年は2月20日に東京で開かれる脱炭素チャレンジカップに参加し、3年前でしたでしょうか、環境大臣賞を受賞されました。農業高校という特性を

活かし全国をリードするような先進的な取組をなさっております。

その他にございませんか。なければこれで議事につきましては、終了となりますので、以上で議長を降りさせていただきます。皆様、円滑な議事運営にご協力いただきありがとうございました。

○事務局

長谷川会長、スムーズな進行ありがとうございました。皆様からいただきました貴重なご提言を参考にしながら、より良い環境づくりを進めてまいりたいと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

最後に、皆様のお手元に環境省が令和 5 年度から始めたもので自然共生サイトというパンフレットをお配りしております。地方の森や里地里山、都市の緑地などで民間の取り組みによって生物多様性が図られている、そういった区域を自然共生サイトとして認定するもので、名取市の環境団体などで手を挙げていただけるものがあれば、市としても積極的に取り組んでいきたいと考えているところです。

では閉会のご挨拶として菅野副会長からお願いいたします。

○菅野委員

副会長あいさつ

○事務局

以上をもちまして、名取市環境審議会的一切を終了いたします。

皆様、大変お疲れ様でございました。

以 上